

TEGOネットだより浜田

はじめに

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成21年2月7日 第21号
浜田市農林業支援センター

寒い日々が続きますが、いかがお過ごしですか。確定申告の時期となり、農閑期を利用して申告の関係書類を整理されている方もおられると思います。申告期間は原則として2月16日から3月15日までとなっております。「広報はまだ」2月1日号にも掲載してありますとおり、市役所本庁および各支所に申告相談窓口が設置されますので、分からないことがあれば利用されることをお勧めします。
(浜田市農林業支援センター長 齋藤 實)

1. 各支援チームからの話題

● 認定農業者支援チーム (担当: 前原・松井)



今回は、治和町でキャベツと水稻栽培による経営に取り組んでおられる認定農業者 **大野重智さん**を紹介します。

平成13年から本格的に農業を始められた大野さんのキャベツは、現在広島市場で高い評価を受け、特に好み焼き店の関係者に絶大な人気を誇っています。

その美味しさの秘密は、長年研究を重ねた**こだわりの土づくり**。微生物が持つ力を最大限に利用しながら、かぎりなく自然に近い環境での栽培(自然農業)を追及されています。ようやく求めていた味に近付いてきたという大野さんですが、**熱い想いと探究心**はまだまだ止まるところを知らず、これからも安心・安全・味の三拍子揃ったキャベツを作られることと思います。

美味しいキャベツ作ってます!

★ 新規就農支援チーム (担当: 河内・佐々本)

加工品開発について「その4」

加工品開発シリーズの最終回は、**販売先との共同開発**についてです。新規の加工品開発は、なるべく販売先を明確化し、その販売先の担当者と共同開発していくことがベストだと思います。なぜなら、販売先の担当者には数多くの商品を扱ってきた「経験」と「知識」があります。パッケージデザインを例に挙げると、見栄えだけでなく、陳列する際に都合のよい形状なども知ることができます。

しかし!!一番大きなメリットは、何と言っても販路が確保されることです。逆に相手先はどこよりも先に新規商品を販売できるメリットがあります。このように共同開発はお互いの利害が一致した時、大きな力を得ることができます。

■ 集落営農組織支援チーム (担当: 塚本・森井)

集落営農組織の法人化メリットは
まず税制特例で!

担い手が、農業交付金や補助金を土地や機械などの購入資金として計画的に積み立てる場合、法人はその積立金を損金に、個人は必要経費に算入できる「農業経営基盤強化準備金」という税制特例があります。

① 対象となる交付金の例

水田経営所得安定対策交付金、中山間地域等直接支払交付金、産地づくり交付金、水田農業構造改革補助金、農地・水・環境保全向上対策交付金 など

② 対象となる担い手とは

認定農業者(農業生産法人・個人)、特定農業法人、特定農業団体、その他の委託を受けて農作業を行う組織(法人課税組織)

③ 特例を受ける条件

- 青色申告を行っている個人、法人であること。
- 農業経営改善計画(またはこれに準じた計画)に、この特例によって取得を予定する資産が記載されていること。

農業経営基盤強化準備金の積立

◎準備金として積み立てた金額を、法人は損金に、個人は必要経費に算入できます。

農用地や農業機械などを買った場合

◎準備金取崩額の範囲内で圧縮記帳できます。

2. きんさい市場黒川店 来店者 50 万人達成！

1月15日、JA いわみ中央本所に隣接する直売所「きんさい市場黒川店」の来店者が50万人を突破しました！

地元の生産者が作る花や野菜、果物、加工品などが並ぶ同店がオープンしたのは平成14年のこと。その後、周布町と原井町(しまねお魚センター内)にも姉妹店が開設されました。「新鮮で・安心で・安全で・美味しい」旬の食材が好評で、昨年度の売上は3店舗あわせて約9千万円。黒川店は昨年末の新装開店後、来店者が着実に増えており、今年度の目標販売額1億円(3店舗合計)の達成がほぼ確実となりました。

きんさい市場には、現在約400人の生産者が出荷されています。少量でも出荷できる、自分で値段を決められる、集荷トラックが運行している、自分の商品の売行きを電話で確認できる、消費者の反応がよく分かるなど、数々のメリットがあります。皆さんも「きんさい市場」に出荷してみませんか。

(問い合わせ先：JA いわみ中央 営農企画課 TEL22-8812)



3. 新たな経営戦略に「トルコギキョウ」はいかがですか？



▲SO チェリーレッド
『SO』とは「しまねオリジナル」の略

島根県では、花き振興品目のひとつで、県オリジナル品種と特許出願技術を持つ「トルコギキョウ」を、経営のできる品目に育てることを目指しています。

現在、県東部を中心に栽培されているトルコギキョウは、花色や花型が豊富なことから全国的に需要が高く、市場価格も安定しています。育苗を除けばあまり難しい栽培技術は必要なく、県オリジナル品種と市販品種を組み合わせることにより出荷時期をずらして作型を決めることもできます。

県は新規就農・規模拡大・法人参入などの経営モデルを示しているほか、良質な苗の供給体制を整備したい考えで、平成21年度には浜田市などの栽培実績がない地域で実験事業を行う予定です。

トルコギキョウに興味のある方は、島根県西部農林振興センター(花き担当 安達普及員 TEL29-5622)までお問い合わせください。

4. 「認定農業者等交流研修大会」の開催について (ご案内)

島根県内の認定農業者同士が一堂に会し、農業を取り巻く情勢について認識を深めるとともに、情報交換によりお互いの資質向上を図るため、2月25日に出雲市(ラピタ本店)で「認定農業者等交流研修大会」が開催されます。〔主催：島根県担い手育成総合支援協議会、島根県認定農業者組織ネットワーク〕

この研修大会では、全国農業会議所の基調報告と、ローソンの元社長である都築富士男氏による「これからの農業」をテーマとした講演が予定されています。認定農業者だけでなく、集落営農組織をはじめとする担い手の皆さんもご出席いただけますので、参加を希望される方は当支援センターまでご連絡ください。

【申込締切：2月20日(金)】

■■ 編集後記 ■■

風邪やインフルエンザが大流行しています。当支援センターにもインフルエンザでダウンしたり、病気の子供の付添いに追われる者などがおり、少なからずダメージを受けています。最近では感染防止のために大半の職員がマスクを着用していますので、支援センターにお越しになる際は、マスクだらけの異様な光景に驚かれないようご注意ください(笑)。

まだまだ寒い日が続きます。皆さんもどうぞご自愛ください。

- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様には配信しています。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発行元 浜田市農林業支援センター

昨年未に移転しました

〒697-0024 島根県浜田市黒川町 3741 (JA いわみ中央本所分館 2 階)

TEL : 0855-22-3500 FAX : 0855-22-3477 E-mail : n-shien@city.hamada.shimane.jp